

上智大学グリークラブ OB会ニュース

2006年度 第3号
2006年11月27日発行

会 長 挨拶

佐野 鑛治 (昭和39年卒)

2006年も師走を迎えようとしておりますが、会員各位におかれましてはお元気にお過ごしのことと存じます。

今年度のOB会活動は、北村協一先生、堀川前会長、デイエス神父さまなど、上智大学グリークラブにとってかけがいのない方々との悲しい別れを経験致しました。しかし、特に故協一先生は、亡くなって更にその存在の重要性を増しているとおもいます。キリスト教精神に強く裏付けられた、人への思いやり、深い愛情を、歌声、合唱を通じて実現しようと全身全霊でわれわれに教えて下さっていたのですから。その遺志は、新たに迎えた太田先生の指揮のもと、イグナチオ大聖堂ザビエル祭記念ミサでの演奏、北村協一先生追悼演奏会、そしてデユオーパ全曲100人演奏会(北村協一メモリアルコンサート)、それ以降と、永く受け継がれていくと確信しています。

母校、上智大学が創立100周年の記念事業を勧めておりますが、OB会の諸活動も母校の発展に貢献するもので無ければなりません。また、グリーの炎を絶やさず、多くのグリーメンが輩出してくれることを願って、一時はグリーに在籍された石澤現学長とOB会有志との懇談会が、田中先輩(35年卒)のご努力で企画され、ピタウ神父さま、現学長など、学校当局、イエズス会等で要職にある方をOB会の顧問に迎えられればと、話しているところです。

今年は、金子澄人(H4卒)チーフマネージャーを中心に、総務：待井欣一(H4卒)、会計：鈴木飛鳥(H7卒)、広報：新任小倉充朗(H8卒)、HP：中谷和史(H5卒)達が、仕事の大変なところ、献身的に頑張ってくれています。100人演奏会の池田有三実行委員会事務局長、現役支援の荻野淑弘委員長、川村大介委員、数多い練習のお世話を一手に担ってくれている運営の上田哲也実行委員、それに支えられ毎回、北海道から通ってくる指揮練習者篠崎新一氏、川島信実行委員会の技術担当の方々。特に中尾照夫氏は学指揮時代から今日まで、協一先生の身近にあり、熱い情熱を持って協力してくれていること、感謝を込め報告しておきます。

最後になりましたが、これら総ての諸活動を下支えして、導いて下さったOBライフ委員会の田中立夫委員長。加藤泰二郎、宮島英二郎、生田隆一各委員の皆様、有り難うございました。全国の会員の皆様もきっと喜んでくださっていると思います。少し早いですが皆様、本年は誠に有難うございました。良き新年をお迎え下さい。

第58回定期演奏会に向けて

上智大学グリークラブ 06年度部長 相川明久

2006年度部長の相川です。今年度も無事、定期演奏会を開催することが出来ますことを感謝いたします。詳細を下記に書かせて頂きます。

日時：2007年1月8日（祝） 14時半会場 15時開演

場所：大田区民プラザ大ホール 入場無料

曲目

第Ⅰステージ Sea Chanty

Whup! Jambory

Saling, sailing

Erie Canal

Shenandoah

High barbary

第Ⅱステージ 男声合唱のための「ふるさとの四季」（源田俊一郎編曲）

ピアノ 久邇之宜

賛助出演 上智大学グリークラブ OB 他有志

第Ⅲステージ ポップス・アニメソング集

残酷な天使のテーゼ

宇宙戦艦ヤマトのテーマ

大きな古時計

見上げてごらん夜の星を

ひとり（ゴスペラーズ） 他

第Ⅳステージ 男声合唱曲アラカルト

作品第肆（男声合唱曲集「富士山」より）

砂上（「海に寄せる歌」より）

花火（「雪と花火」より）

秋のピエロ（「月光とピエロ」より）

雨後（「追憶の窓」より） 他

以上

第Ⅰステージでは、海の男の歌とも称される曲の数々を雄々しく歌い上げることを目指し、第Ⅲステージではみなさんに親しみある曲を楽しんでもらおうと、第Ⅳステージでは男声合唱の醍醐味とも言える多田武彦作品を中心として、男声合唱の魅力を存分に伝えようと、日々練習に励んでおります。

そして、第Ⅱステージでは、グリークラブで長年お世話になってきたピアニストである久邇之宜先生のご賛助と、グリークラブ OB 他有志の方のご協力により、みなさんお馴染みの文部省唱歌の名曲の数々を歌い上げます。これは私たちグリーンメンが、世代を超えて歌うことの素晴らしさを共有する場であると共に、部員減少という現状を打破するため、上智の男声合唱をもう一度盛り上げるための最高の場だと思っています。

この演奏会に一人でも多くの方に来ていただいて、満員の客席の中、全てのお客さんに満足いただけるような最高のステージにしたいと、全力を尽くしたいと思います。これを読んで下さる皆様一人ひとりのご協力・ご支援、心よりお願い申し上げます。

定演打ち上げ・上智グリー OB 会新年会のお知らせ

チーフマネージャー:H4 卒 金子

さて、毎年恒例の上智グリー OB 会の忘年会ですが、今年は定演が年明けとなりますので、「新年会」に切り替えて、定演終了後下記の会場・日時にて開催いたします。今回は賛助ステージで OB のオンステもあります。奮って御参加いただきたく、よろしく御願いたします。

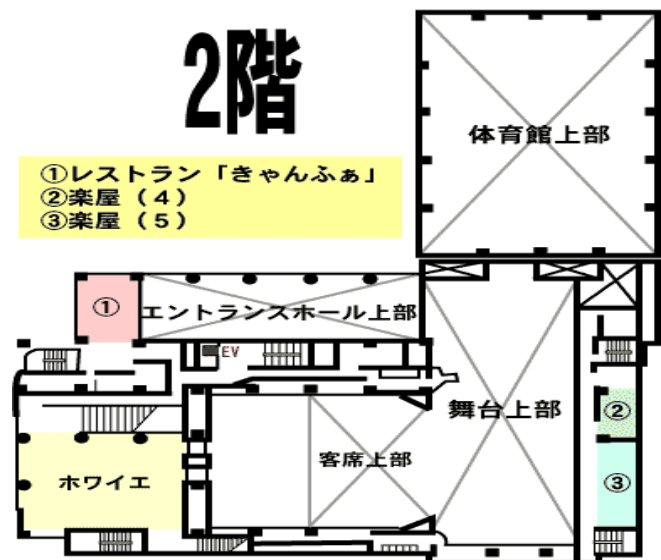
上智グリー OB 会 2007 年新年会

会場: レストラン「きゃんふぁ」 大田区民プラザ2F

大田区下丸子3丁目1-3 : 03-3758-0332

www.ota-bunka.or.jp/2plaza/plaza_top.html

会費 : 未定(当日徴収いたします)



2007年10月8日コンサートタイトル決定！

「デュオーパ荘厳ミサ全曲演奏会」事務局

同事務局で検討の結果を11月12日のマネージャー会議の了承を頂き、演奏会のタイトルなど下記につき決定致しましたので、皆様にお知らせ致します。

1. 演奏会タイトル

次の通り決定した。今後このタイトルで統一する。

上智大学グリークラブ・北村協一メモリアルコンサート ～デュオーパ荘厳ミサ全曲演奏～

- 1) 上智大学創立100周年に付いてはプログラムの中に記載する
- 2) 事務局の名称を次のように改称する。

「上智大学グリークラブ・北村協一メモリアルコンサ」事務局

2. 同演奏会用楽譜の出版

同演奏会用のオリジナル楽譜をA4版で制作する。

11月23日完成、同日の練習で配布予定。

3. 合宿

2007年7月と9月に予定していた合宿に付いては下記の理由により強化練習（10月8・9日に実施した形式）に変更する

- 1) 十分に効果的な練習、及び団員の結束が確保できた。
- 2) 定演支援、追悼演奏会など参加者の経済的負担が増え、これ以上の負担を軽減する為。
- 3) ただし、環境を変えて学内以外、外部での練習場も検討する。
- 4) 日程としては下記を予定

7月15日、16日

9月23日、24日

4. 練習

練習スケジュールに付いては、現役定演の応援ステージと併せて別掲のとおり行う。

5. 収支予算の見直し

作業の進展を整理し今後の見直しを確認、参加者の確定化など年内に見直しをして、収支予算の見直しを実施する。

以上

北村協一先生追悼演奏会に関するお知らせと御願い

チーフマネージャー:H4 卒 金子

既にご案内かと存じますが、北村先生の追悼演奏会が 2007/2/24 に開催されます。つきましては追悼演奏会に関するお知らせと御願いがありますので、皆様方におきましては、是非とも当日会場へ足を運んでいただき、亡き北村先生の思い出を共有出来たらと考えております。

1. 北村先生追悼演奏会の公式 HP について(上智グリーHP とのリンク近日開始!)

追悼演奏会の HP が立ち上がりました。アドレスは、<http://www.kitamura-memorial.com/> です。また今回の OB 会ニュースに追悼演奏会のチラシを同封しましたので、是非お役立て下さい。尚、チケットは全席指定にてチケットぴあで販売中です。

2. 北村協一“Love。”メモリアル合唱団への参加について

追悼演奏会当日は、北村先生に御世話になった方々を中心に、この日だけの合唱団：“Love。”メモリアル合唱団が結成され、合同演奏をする予定です。(但し、男声のみでの参加は不可ですのでご注意ください。～必ず混声にも参加いただく形となります。)具体的な練習開始は年明けからですが、畑中先生、佐藤先生、久邇先生のご指導で約 300～400 名以上での演奏になるかと思えます。つきましては、追悼演奏会で上智グリー現役・OB のステージにオンステージ出来ないけれども、メモリアル合唱団に参加したいという方には、今回募集要項と参加申込書(個人用)を同封いたしますのでご利用下さい。(上智グリーのステージにオファーされる方で、メモリアル合唱団に参加される方は、金子までご連絡下さい。)

3. 追悼演奏会への協賛金の御願い

現在追悼演奏会事務局では、追悼演奏会への協賛金を募集しております。詳細は追悼演奏会事務局からのお知らせならびに郵便振替用紙を今回同封しましたので、ご利用下さい。

4. 追悼演奏会プログラム作成にあたっての御願い

今回の企画としては、北村先生との思い出は、極力演奏会当日のプログラムに盛り込む方針です。先日はその第 1 弾として、上智グリーにおける北村先生の演奏履歴データを早速事務局に提出しました。御協力いただきましてありがとうございます。追加で下記の資料を現在収集しております。但し、紙面の都合上、プログラムでは割愛指せて頂くものもあるかと存じますが、その場合できるかぎり上記の追悼演奏会 HP への掲載や、デューパ 100 人演奏会事務局でもご参考にさせて頂く可能性が高いと思っておりますので、何卒引き続き御協力の程、よろしく御願いいたします。

<収集対象物件～金子までメールもしくは郵送にて御願いします。期日:06/12/2>

①北村先生の写真(現物になりますので、裏面等に卒年とお名前をご記入下さい)

②北村先生語録(北村先生御自身が書かれたメッセージ等)

③北村先生のことば～北村先生のことばを入れながら、思い出・今後について・追悼等の皆様方のメッセージをいただきましたら幸いです。(尚、本件は特に期日はありません。また、上記追悼演奏会の HP でも追悼分を受けつけておりますので、御利用下さい。)

石澤学長との懇親会に関するご報告

チーフマネージャー:H4 卒 金子

先日平成18年11月18日に赤坂維新館にて、石澤良昭:現上智大学学長をお招きして懇親会を開催しました。

石澤学長はグリーンクラブに新入生の1年間在籍しておられ、同期となる昭和36年卒前後のOB及びOB会マネージャー、現役部員を中心に25名の方にお集まりいただきました。

当日は、現役からの活動報告ならびに来年4月のフレッシュマンウィークにおける新入生獲得に向け、大学側の協力を要請。

OB会からは、現役支援活動・デュオパ 100人演奏会等の活動を報告するとともに、S40卒山田さんによるカンボジアでの音楽支援活動や、アンコールワット遺跡の発掘で功績大なる学長のカンボジアにおけるステータスを御披露いただきました。

最後は学長を交え愛楽曲を合唱し、校歌にて会を締めました。

学長におかれましては、OB会の名誉顧問に就任して頂く内諾を頂戴し、来年のファミリーパーティーにもご来場いただくことを御了解。これを機に大学側と上智グリーン現役・OB会とのパイプを更に太くし、新入生獲得等、現役支援活動に結び付けたいと考えております。

カンボジア青少年オーケストラ及び

アンコール国際青少年オーケストラコンサートの事

山田三千夫（昭和40年卒）

S.40年度卒の山田三千夫です。日ごろグリーンOB会活動にご無沙汰を重ね申し訳ありません。昨日、石澤学長を囲むグリーンOB会の席で私の活動を本誌にて紹介するようにとの田中先輩より温かいお声をかけて頂き、お言葉に甘え筆を取らせて頂きます。

私はグリーンを卒業させて頂いたおかげで、豪州、シンガポール、カンボジアそれぞれの海外勤務時代、現地での合唱活動に溶け込み、生涯の思い出、友人を沢山作る事が出来ました。特に最後の任地では文化芸術省国際文化交流アドバイザーと言う願っても無い業務に恵まれ、カンボジアの学生合唱普及、青少年オーケストラの組織、クメール音楽と西洋音楽の融合等様々な文化活動に参画する事ができました。

これらの軌跡を振り返るとそのルーツは結局上智のグリーンであった事に今頃気が付き、この素晴らしいグループを育て上げて下さった先輩、同輩、後輩のご苦勞、努力に改めて深く頭を下げる思いです。

さて、私のカンボジアに関わる現在の活動状況をご案内し、その内容にご理解いただける方が居られましたら、是非ご協力、ご支援の程、厚顔ながらお願い申し上げる次第です。

1. アンコール青少年オーケストラ (Angkor Youth Orchestra, ANYO)

カンボジアはポルポト政権時代の徹底的な文化破壊政策により、音楽に関わる施設、機材、人材全てが無に帰してしまいました。その後、2001年にこの国もアセアンに加盟し、ようやく様々な分野で周辺諸国にごすべく遅々ながら文化面にも光が当てられ始めていますが、クラシック音楽に関しては未だに関心が低く、オーケストラ活動などはアマ、プロを含め全く行われていません。

オーケストラの存在は一国の文化の尺度を図るバロメータでもあり、何らかの形で将来オーケストラを持つ意識が無ければ、アセアン諸国の中で恥をかくぞと、事ある度に政府関係者、学校関係者にはっぱをかけていました。

本年当初 NHK バンコック支局よりタイユースオーケストラと提携活動を続けている群馬ジュニアオーケストラ (GJO) を紹介されました。早速 GJO と連絡をとりカンボジア側の受け皿を作りアンコール青少年オーケストラ (ANYO) を組織し政府登録を行いました。7歳から20歳までの青少年 50名が公募で選ばれ毎週日曜日麻二時間王立芸大の一室を借り弦楽器中心の練習を行っています。

楽器は GJO 並びに私が集めた中古バイオリン 20台チェロ 2台ビオラ 1台を団員が交代で使用しています。指導はロシア留学経験のある芸大の先生が交代で教えておりその指導費用月額 US \$ 300. -は、私が一年分の寄付を行い当座をしのいでいます。12月にアンコールワット国際青少年オーケストラコンサートに現地に行く予定ですがこの際にも持参できるよう既に中古バイオリンを7台集めています。GJOは演奏用に持ってゆくティンパニーを使用後寄付してくる予定です。またボランティアで参加する札幌交響楽団のチェロ奏者も演奏後楽器を寄付してくれる事となっています。

ANYOには、まだまだ楽器が不足しています。グリーOBの皆様又はお知り合いに不要となった楽器をお持ちの方が居られましたらお手数でも私の方にご紹介頂けませんでしょうか？ 弦、松脂、楽譜スタンド等の関連部品のみでも結構です。また、楽器が増え指導者が増えることによる指導料負担も増える為、この面でのご支援が可能でしたらご篤志も助かります。

2. アンコール国際青少年オーケストラコンサート

12月から来年1月にかけてアンコールワットのあるシムリアップ市においてアンコール文化エキスポ 2006 がカンボジア政府の主催により開催されます。このイベントには、世界20ヶ国が参加し、それぞれの国の文化が披露されます。この機会を利用し、アンコールワットの境内で12月31日と1月1日の年末、年始にアンコール国際青少年オーケストラコンサートを企画提案し、主催者側の同意を取り付けました。

この演奏会にはアンコールユースオーケストラ (ANYO) 及びクメール伝統楽器奏者の地元側の参加者と群馬ジュニアオーケストラ、アントワープユースオーケストラ、タイジュニアオーケストラ、チェコの若手指揮者、札幌交響楽団チェロ奏者やネパールで音楽教師をしている芸大出のホルン奏者等様々のボランティアが自費参加します。

今回の演奏会への参加費用に関して、海外よりの参加者は全て宿泊代以外自己負担、現地青少年演奏者、クメール伝統楽器奏者経費は主催者負担と言う取り決めで準備が進められてまいりました。ところが、先週になって宿泊費ならびに現地参加者の費用は予算がおりず負担できないと

とんでもない事をいって来ました。この様な話はカンボジアでは、よくある事なので今更怒ったり驚いたりする事ではありませんが航空券も予約し準備を整えている日本側は、今更はしごを降りるわけにも行きません。この為、日本側参加者には訳を言って費用の追加を了承して貰いました。

しかし、張り切って練習に励んでいるカンボジアの青少年達が、主催者の翻意により海外の仲間達と音楽演奏を共演できるという千偶一在の機会を逸するとは、余りに酷な話です。この為、懇意にしている在日カンボジア大使に実情を伝えカンボジア青少年への支援協力を相談しました。同大使も状況を理解し現地側必要経費〔\$ 5000〕の捻出に協力してくれる可能性のある団体への紹介を積極的に行ってくれ連日大使の紹介状を持ってカンボジア青少年への支援金援助募集に走り回っている毎日です。

もし、上記現況をご理解いただきご支援下さる篤志家がおられましたら是非私にご紹介下さい。私は12月19日から現地に飛び準備並びに調整活動を行う予定です。

以上

会計からのお願い

会計マネージャー 鈴木飛鳥（平成7年卒）

会計から、引き続き年会費納入のご協力をお願い申し上げます。お振込みの際は、下記口座までお願いします。なお、郵便振替の場合は、同封の郵便振替用紙をご利用ください。

【お振込み先】

（1）郵便振替

加入者名：上智大学グリークラブOB会

口座番号：0110-8-708952

（2）銀行振込

銀行：三井住友銀行

支店：東京中央支店（店番：015）

種類：普通預金

口座名：上智グリークラブOB会

口座番号：3327282

（編集） 広報 小倉充朗（平成8年卒）